



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●咽頭結膜熱(プール熱)

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。夏に多くみられますが、そのほかの季節でも報告がありますので、感染予防を心掛けましょう。

◆どんな病気?

アデノウイルスによる感染症で、主に5歳以下の小児に多い病気です。プール内や、タオルを共用することによっても感染するため、「プール熱」とも呼ばれます。

・症状……38℃~39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3~5日続きます。アデノウイルスには色々な種類があり、咽頭結膜熱以外にも、呼吸器感染症、流行性角結膜炎、胃腸炎などの原因となるものもあります。

・潜伏期間…約5~7日

・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染です。

・流行期……6月ぐらいから増えてきて、7~8月に流行のピークを迎えます。



◆かかったらどうすればいいの?

・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。

ほとんどは自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきがひどいときには早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は?

・手洗い、うがいが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。

・症状のある人は、周りに広げないようにマスクや手洗いを徹底しましょう。

・ウイルス排出は初期数日が最も多いですが、その後数カ月排泄が続く事がありますので、おむつ交換後の流水・石けんによる手洗いや、おむつ処理の取り扱いにも注意しましょう。

期 間		2020年 42週		2020年 43週	
		10/12~10/18		10/19~10/25 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	1	0.06	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	6	0.38	5	0.31
感染性胃腸炎	➡	18	1.13	22	1.38
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	2	0.13
手足口病	➡	9	0.56	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	12	0.75	10	0.63
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	5	1.00	2	0.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00